

《カトリック大和高田教会 お知らせ》2024年12月7・8日

典 礼 暦	日 時 など
	12月 7日 (土) 黙想会 10:00 ミサ 11:30
待降節第2主日	12月 8日 (日) ベトナム語ミサ 14:00 12月12日 (木) ミサ 10:30 12月14日 (土) ミサ 8:00
待降節第3主日	12月15日 (日) ミサ 10:30 12月19日 (木) ミサ 10:30 12月21日 (土) ミサ 8:00

【カトリック中央協議会】

●菊池功大司教様の枢機卿(すうききょう)叙任式についての日程

※バチカンのサン・ピエトロ大聖堂において執り行われます。

※以前発表された日程から変更されましたのでご注意ください。

- ・枢機卿叙任式 : 12月7日(土)午後4時(ローマ時間)
《12月8日(日)午前0時(日本時間)》
- ・教皇司式感謝ミサ : 12月8日(日)午前9時30分(ローマ時間)
《12月8日(日)午後5時30分(日本時間)》
- ・バチカンニュースなどのYoutube サイトで、中継されます。

【京都司教区】

◎ {大聖年について}

- ▶ 2024年12月24日(火) 主の降誕の前日、聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」が教皇によって開かれ、聖年が開幕します。次いで、2024年12月29日(日) 聖家族の祝日に、ラテランの聖ヨハネ大聖堂で聖なる扉が開かれます。
- ▶ 京都教区では、大勅書の指示にしたがって、司教座聖堂である河原町教会で司教様が12月29日、聖年開幕のミサを捧げます。

●第二バチカン公会議を学ぶ～シノドスの歩みのために～

【ZOOM 講座】 & 【対面分かち合い】 2024年7月～2025年4月

【ZOOM 講座】 次回は **2025年1月10日(金)**

【奈良ブロック】

◎ウォーカーソン(11/23)のスポンサーとしてご協力をお願いします。高田教会(18名)、ボーイスカウト大和高田12団(10名)の参加がありました。募金の取りまとめは15日(日)までにお願いします。

●【「聖書を学ぶ会」から】今年の講話(全四回)がYoutubeで視聴できるようになりました。詳細は、掲示板をご覧ください。

◎2024年クリスマス・チャペルコンサートについて

日時: 12月14日(土)、12時30分開場、13時開演

会場: 大和八木教会・聖堂

【大和高田教会】

◎12月度小教区評議会は12月15日(日)9時から、小聖堂で開催いたします。役員、地区長、各部会等各位のご出席、お願いいたします。

◎本日(12/7)は待降節黙想会 (指導: ホン・ユンハク神父様)

10時～ 講話、11時30分～ ミサ、ミサ後、昼食と分かち合い

▶ホン神父様は12月末に韓国・済州教区に戻られます。

感謝とともにお送りしましょう。

◎12月3日(火)は日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭の祝日でした。12月8日(日)ミサ後、ベトナムコミュニティ主催のパーティで一緒にお祝いしましょう

●「京都教区時報」「心のともしび」12月号を受付にて配布中です。持ちかえり下さい。(ボックスへの配布は中止しました)

●「聖書の分かち合い」(Sr.ローマ): 12月12日(木)ミサ後

◆ 教会掃除当番

12月 8日(日)ミサ後 : D地区

12月14日(土)9:00 : AB地区

12月8日 待降節第2主日 ルカ3章1～16節 新約の時代への橋渡し

今日の福音では洗礼者ヨハネが登場し、救い主の到来が告げ知らされます。ヨハネが出てくるといよいよクリスマスが近いという感じですね。ただし、彼が救い主を告げ知らせたのはイエスが洗礼を受ける直前ですから、時系列的には降誕より30年あとの出来事だということになります。でも当時の人々は洗礼者ヨハネの証しによって救い主を知ったわけですから待降節の意味にふさわしいといえるでしょう。

洗礼者ヨハネは旧約最後の預言者と言われます。新約聖書に登場するのですが、預言者によって神の教えを受けた旧約の時代を終わらせて、新約の時代、つまりイエスの福音に橋渡しをする役割をしているのです。

彼は荒れ野で悔い改めの洗礼を授けていました。本来ならば、聖地エルサレムの神殿で救い主を宣べ伝えるはずでした。しかし、エルサレムの町は権力者によって、神殿は宗教的エリート（祭司階級や律法学者、ファリサイ人）によって支配される場所でした。それでヨハネは墮落したエルサレムを見捨て、荒れ野で宣教したのです。もちろんそこに洗礼を授けるための川があったことも理由だったでしょうが。

ヨハネを表しているといわれるのはイザヤ書の40章3～5節です。少しアレンジされていますが、内容は同じです。イザヤ書ではバビロン捕囚からの帰還を第二の出エジプトととらえています。いずれも荒れ野を通して約束の地へ向かいました。「荒れ野の道」はそのことを表しています。そして、新約聖書では、イエスによる救いを新しい出エジプト、すなわち新しい「過越」と考えています。洗礼者ヨハネの証しは救い主へと導く「道」ということなのでしょう。その道を整備して通りやすくするということですね。

「谷は埋められ、山と丘は低くされる」というと大規模な自然破壊のように思えますが、それまで神との間をさえぎっていたものが取り払われ、ストレートに神の栄光が届くという意味です。たしかに旧約時代は預言者を通して神のメッセージが届けられ、イスラエルの民は間接的に神とのかかわりを持ったのでした。靴の上から足を搔くような感じでしょうか。あまりいいたとえじゃないですね。預言者のみなさん、ごめんなさい。それに対して、イエスが福音を告げられた新約の時代は神ご自身がストレートに神のことばを告げられたのです。まさに痒い所に手が届くということですね。それどころか、福音は貧しい人々から始めて、世界の隅々にまで告げ知らされるようになったのです。

洗礼者ヨハネの登場にまつわる聖書の記述は、単に救い主の到来を準備するというだけでなくとどまらず、神とのかかわりが劇的に変わる時代が来るということを表しています。わたしもこの文章を書きながら、洗礼者ヨハネの到来の意味を新たに考えることができました。わたしたちはさらに新約の時代に生きているという喜びを深めるためにも、洗礼者ヨハネの叫びに耳を傾けたいと思います。

(柳本神父)